

# 福祉環境調査会記録

平成30年8月7日(火)

9時56分～12時51分

全員協議会室

(委員) 柳楽委員長、上野副委員長

村武委員、布施委員、芦谷委員、田畑委員、澁谷委員、西村委員

(議長・委員外議員)

(福祉環境委員会 所管管理職)

〔健康福祉部〕前木健康福祉部長、井上地域福祉課長、久保健康長寿課長、河上子育て支援課長、

白根地域医療対策課長、湯浅統括保健師

〔市民生活部〕斗光市民生活部長、野田環境課長

〔金城支所〕吉永金城支所長、大崎市民福祉課長

〔旭支所〕塚田旭支所長

〔弥栄支所〕河上弥栄支所長

〔三隅支所〕斎藤三隅支所長

〔上下水道部〕河野上下水道部長、~~坂田管理課長~~、桑原下水道課長

(事務局) 新開書記

---

## 議題

### 1 執行部報告事項

- |                              |           |
|------------------------------|-----------|
| (1)ラ・ペアーレ浜田の所管換えについて         | (地域福祉課)   |
| (2)平成29年度国保診療所の診療状況について      | (地域医療対策課) |
| (3)浜田市自死対策計画策定について           | ( 〃 )     |
| (4)浜田市在宅医療・介護連携支援センターの設置について | (健康長寿課)   |
| (5)浜田市いきいき配食サービスについて         | ( 〃 )     |
| (6)浜田市病後児保育室の開設について          | (子育て支援課)  |
| (7)浜田市子育て支援センター基本構想について      | ( 〃 )     |

- (8)災害の被害状況、支援等について (該当課)
- (9)平成30年7月豪雨災害への浜田浄苑及びエコクリーンセンターの対応について (環境課)
- (10)浜田市金城高齢者生活福祉センター(さんあいホーム)の設備修繕について (金城支所市民福祉課)
- (11)マンホールカードの制作について (下水道課)
- (12)その他

## 2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

## 【会議録】

( 開 議 9 時 56 分 )

柳楽委員長

只今から福祉環境調査会を開催します。レジュメに沿って進めていきますのでよろしくお願いします。

### 1. 報告事項

#### (1) ラ・ペアーレ浜田の所管換えについて

柳楽委員長

この件について、地域福祉課長。

地域福祉課長

( 以下、資料をもとに説明 )

柳楽委員長

説明が終わりました。委員から質疑はございますか。澁谷委員。

澁谷委員

これは以前から指摘があった問題です。担当課がこういう形にされた理由は、効率的な管理を行うためだけですか。

地域福祉課長

同様の施設を1つの課で行うことで、色々なノウハウをもって効率的な管理が図れると考えています。

柳楽委員長

その他に。芦谷委員。

芦谷委員

3月までは市の介護予防事業を委託していたと思います。所管替えをすればその事業が余計進まないのではないのでしょうか。市がしていた介護予防事業との絡みはどうなるのか、お考えを聞かせてください。

健康長寿課長

3月までペアーレで介護予防事業を行っていました。残念ながら利用が少ないということで、3月をもってこの事業は一旦終わりにしたのですが、今後も必要に応じてペアーレの活用もさせていただきたいし、所管に関わらず連携を取っていきたいと思います。

芦谷委員

一般的に指定管理で出している場合は、施設の管理運営だけが主眼であって、利用促進や生涯学習の推進、健康づくりが進まないというのは言われています。従って指定管理の状況で元の福祉関係の課として、利用者の声なりペアーレで展開する健康づくりや介護予防等のメニューの検討はあったのでしょうか。指定管理者側と、実態を見聞きしたり接触したりして、より利用が深まっていった健康づくり・介護予防の実効が上がるといったことにつ

健康長寿課長	<p>いてはどうか伺います。</p> <p>今回事業は一旦中止になりましたが、指定管理者側と方針については今までも話し合ってきて、現在に至っています。これからも必要に応じてご相談したいと思っています。所管が変わったから滞るということは、我々としては考えていません。</p>
芦谷委員	<p>松原町のすまいるも含めて、健康づくりや人が集う施設について、是非教育委員会のスポーツや生涯学習推進と併せて、市民サロン、健康づくり、介護予防を進められるようお願いします。</p>
柳楽委員長	<p>その他ございませんか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p>

## (2) 平成 29 年度国保診療所の診療状況について

柳楽委員長	<p>この件について、地域医療対策課長。</p>
地域医療対策課長	<p>( 以下、資料をもとに説明 )</p>
柳楽委員長	<p>説明が終わりました。委員から質疑はございますか。</p> <p>( 「なし」という声あり )</p>

## (3) 浜田市自死対策計画策定について

柳楽委員長	<p>この件について、統括保健師。</p>
統括保健師	<p>( 以下、資料をもとに説明 )</p>
柳楽委員長	<p>説明が終わりました。委員から質疑がありますか。布施委員。</p>
布施委員	<p>平成 28 年の 9 人、男性が高いということですが、年齢や、比較的多い自死理由等は分かっていますか。</p>
統括保健師	<p>数が少ないと理由がはっきり言えないので、24 年から 28 年の傾向で見ると、60 歳以上で無職の男性が一番多くなっています。背景には色々あるが、主には失業や退職からの生活苦、中には介護疲れや悩み、病苦等が挙げられます。2 番目に多いのが、40～59 歳までの男性。仕事を持っておられる方で、配置転換や過労等、職場での悩みから鬱状態となり自死される方が多いと分析しています。</p>
布施委員	<p>各課連携しながら対策を講じていかれると思いますが、必要以上の残業やハラスメントも指導されていると思います。行政とし</p>

てここは訴えていきたいといった計画があればお聞かせください。

統括保健師

労働基準監督署、ハローワーク、商工会議所とも連携しなければいけないし、鬱状態になって亡くなる方もおられるので、連絡会メンバーには西川精神科の病院にも入っていただいて、今も連携は取っているのですが、この計画を作る事で更に目合わせをしながら一人でも防いでいきたいと考えています。

柳楽委員長

その他にございませんか。澁谷委員。

澁谷委員

計画を作っていただくのは大変良いことですが、どのようなことが対策になるのかが見えにくいと思うのですが。いじめ検証等の報道を見ると、最後は鬱状態になったと言って誤魔化す教育委員会が全国にあります。この問題の対策は、言葉では簡単ですが行政がどのように関わっていくかが今一つ見えない気がします。具体的な戦略・戦術をお考えなのかお尋ねします。

統括保健師

今回の計画策定にあたって色んな資料を国県からいただきましたが、全国の色んな事例が出ています。効果を挙げた事例もたくさん示されていますので、これを基に関係機関と話をしていくと具体的な内容が煮詰まっていくのではないかと考えています。

澁谷委員

悩んでおられる方が相談しやすい仕組みづくりをしないと、計画を作っただけではグレーゾーンの救済にはならないと思うのですが、どのようにアプローチされるのかももう少し分かりやすくご説明いただけますか。

統括保健師

相談しやすい体制も重要な点だと考えています。9月15日にいのちの電話主催の研修会等があります。市にも電話やメールで相談が入ることがありますし、地域で様子がおかしい人の情報をキャッチされている場合もありますので、地域における色んな相談窓口のネットワークを更に強化していきたいと考えています。

後から気づけばあの時そういえばちょっと様子が……という話を聞きますので、敏感に感じて繋いでいただけるような人材育成、ゲートキーパーの育成も大切だと考えています。

窓口の紹介については、目に入りやすい工夫を色々としなないといけないと考えていますので、計画内に具体的に織り込めたら良いなと考えています。

柳楽委員長

芦谷委員

その他にございますか。芦谷委員。

今までの質問でカバーされているので、相談機能、自死遺族のネットワーク、市の啓発事業、企業や病院との横の連携、これらが必要だと思います。秋田県は確か日本で一番自死が多いのです。秋田県庁には専門部署を設けています。是非秋田県内市町村の取組を参考にされて、実効ある計画のもとに事業を組んでください。

柳楽委員長

上野副委員長

柳楽委員長

その他ございませんか。

柳楽委員長。

これまで市役所にそういった相談がどの程度あったかを教えてください。

統括保健師

今は手元に資料を準備していませんので、また調べてご報告させていただきます。

柳楽委員長

統括保健師

相談窓口は市役所のどこが担っておられるのでしょうか。

ネットワーク会議等を集約するのは地域医療対策課になっていますが、健康福祉部や他部署からでも情報が入るようなネットワークを意識して検討会議を毎年開催しています。

柳楽委員長

その他にございませんか。

( 「なし」という声あり )

#### (4) 浜田市在宅医療・介護連携支援センターの設置について

#### (5) 浜田市いきいき配食サービスについて

柳楽委員長

健康長寿課長

この2件について、健康長寿課長。

( 以下、資料をもとに説明 )

柳楽委員長

布施委員

説明が終わりました。(4)について委員から質疑がありますか。布施委員。

非常に良いことだと思います。病院には連携室というのがあって、患者さんが退院する時にはケアマネと先生が今後に必要な介護等を協議して、事業所を呼んで訪問介護や医療が始まると思います。事業所の相談窓口を支援すると言われましたが、事業所には色んな相談があると思っています。センターを作ることによる大きな変更点があれば教えてください。

健康長寿課長

患者さんが退院されるにあたり、いかにスムーズに在宅へ移行

されるかを医療機関、ケアマネ、ご家族と相談するセッションが、より有効に機能していると思っています。今回私どもで作るセンターは個別支援よりも幅広く、例えば退院時にうまく連携するためのルール作りを手掛ける等を大きい目標として持っています。個別支援については今まで同様に包括支援センターが担います。大きく違う点と言うと、ルール作りや医療機関や介護関係から収集した情報の整理をして、広く皆さんに発信することを役割として大きく持って取り組んでいきたいと考えています。

布施委員

あくまでも事業所との連携だと思いますが、介護職員の悩み等、事業所には言えないけど聞いて欲しいといった、相談窓口としての位置付けは無いのでしょうか。

健康長寿課長

各従業員さんの個別の課題を担うという役割は、このセンターには無いです。

柳楽委員長

その他ございませんか。芦谷委員。

芦谷委員

地域包括支援センターのサブセンターも含めた職員数と、正規・非正規の割合をお願いします。

健康長寿課長

まずこの位置付けで包括支援センターとありますが、事業所からの相談窓口ということで浜田市の場合は地域包括支援センターを市が直接持っていますので、市の包括支援センターを対象にしているわけではなく、他所からの地域包括支援センターからの相談窓口もここだという位置づけで書いています。

個別の具体的人数については、すみませんが後でお調べしてお伝えします。

芦谷委員

人数を聞いたのは、1名の嘱託看護師なのですよ。権限も任期も5年です。事業者や地域包括から相談を受けて色々なことをするのに、人材的に市の姿勢が問われると思います。やはりきちんと経験を積んだ正規職員を複数くらい配置しなければ、5年間の嘱託職員では、大きな介護事業所等の調整は絶対に無理です。市の姿勢が弱いと思いますがどうでしょうか。

健康長寿課長

まず嘱託看護師（実務経験を有する者）ということで、業務に長けている者を充てているつもりはあります。主な役割としては、先ほども少し触れましたが情報収集をして発信するのが大きな役割です。一人ですべてを賄えるわけではないので、当然他の職

員のバックアップもやるつもりで行っています。こういった形でどれだけのことを進めていけるのかは未知数ですが、今後の事業展開の中で体制については改めて考えていきたいと思ひます。

芦谷委員

どこの課、どの係に配置して、地域包括支援センターとはどういふ関係になるのでしょうか。

健康長寿課長

健康長寿課の地域包括ケア推進係の配置になります。課には地域包括支援センターがありますが、その一部という配席です。課内にあるので密な連携を図りながら、みんなで対応できる体制をとって行きたいと思ひます。

芦谷委員

あまり立ち入った話はもうしませんが、看護師さんより保健師さんやケアマネさんが良いと思ひますし、地域包括支援センターと同じ係で並んで、統括保健師さんのように職責の上の人を充ててやる方が絶対効果が出ますよ。再度お伺ひします。

健康長寿課長

ご助言ありがとうございます。繰り返しになりますが、今後このセンターにどの程度の求めが事業所から寄せられるかも含め、体制については運営していく中で改めて考えていきたいと思ひます。

柳楽委員長

(4)についてその他にございますか。澁谷委員。

澁谷委員

事業者さんの相談窓口とのことですが、高齢者人口が36パーセントを超えているような自治体としては、先進的な取組が少ないように思ひます。先進自治体として外部からの行政視察も滅多に来られないでしょう、高齢者福祉の問題について。浜田くらいの規模なら地域包括支援センターは5つ6つ設置されていますし、人材についても戦略的にフォローしている感じも無いし、後追いのような感じですよ。色々な福祉施設がたくさん出来てますよね、デイサービスもあるし小規模多機能もあるし、長期的な……そういう施設に対してのチェック体制が、浜田市には十分出来ているのかというのもあるし、あまりに広範囲な問題に対して、どれ一つとして際立っていない気がします。今回相談センターを設置することによって、何か画期的なことになるのですか。

健康長寿課長

まず最後におっしゃられた、この在宅医療介護連携支援センターが出来ることによって画期的なことが有るかというお話で言うと、これが出るから他所と比べて何かものすごく画期的になるとい

ったことは特にございません。これはあくまで介護と医療の連携を推進するための手法の一つとして設置し、今まで地域包括支援センターで担っていた部分をこちらのセンターと役割分けするための体制整備です。

高齢者介護において、浜田市にはよそと比べて特別光るものが無いのは確かにそのとおりです。非常に多岐にわたる部分ですし、職員は一生懸命色々なことに対応しています。高齢者の方から日々色々な相談を受けて対応していますが、戦略的に整っていない部分はあると思います。引き続き取組を考えていきたいと思っています。

澁谷委員

職員の皆さん夜遅くまで大変仕事をされていますよね。しかし戦術的な熱心さというのは、戦略がきちんと出来ていないのに効果が出るのかなど。ただ自分が熱心に頑張っているだけで、市民の満足度を高めて……浜田市が在宅医療を中心とした今後の国の方針の中で、取組について今一つ見えないままになっている。基本的に人が足りないのですか。課長はどのようにお考えですか。

健康長寿課長

市の体制の部分で言うと、地域包括支援センターを市が自前で持っていることが挙げられます。健康長寿課も嘱託職員含め 27 名体制で大所帯ではありますが、介護保険関係で言えば日程調査あり、ケアマネージャーあり、包括支援センターでも職員体制ありということで、非常に人数は多いですが慌ただしい中で動いています。人数そのものという話で言うと、より充実させようと思えば更なる体制は必要な部分はあると思いますし、地域包括支援センターそのものをどのような形で運営していくのか、場合によっては市以外の所が担っていく。全国的にはそういう所も多いのですが。そういった所も含めて今後どのような形で体制を考えていくのか、どのように運営すれば皆さんに喜んでいただけるのか、模索していかなければならないと思います。

澁谷委員

介護施設や福祉施設のチェック体制は、課長の所が担当ですか。

健康長寿課長

浜田市の場合は、広域行政組合に介護保険事業を分けて行っています。事業所への監査や個別指導は、広域行政組合の役割になっています。

澁谷委員

連携はどうなっていますか。広域行政組合に任せきりですか。

健康長寿課長

広域行政組合とは定期的に担当者を含めたワーキング会議や、課長クラスを含めた会議等、情報提供は頻繁に行っています。

監査等が行われるという情報も頂いていますし、必要な連携は図ってはいるつもりです。

澁谷委員

不正請求等が起こった時に、問題が新聞報道になるような形ですが、サービスのレベルはきちんとチェックしていかないといけないと思います。広域行政組合にはそういう専門官みたいな方がおられるということですか。

健康長寿課長

セクションとしては事業所の指導等を行う係が配置されていて、その職員が行う形で体制を整えています。

澁谷委員

何人いらっしゃるのですか。

健康長寿課長

正確な職員数は未確認ですが、3名ないしは4名だったかと思っています。

柳楽委員長

その他にございませんか。

上野副委員長

柳楽委員長。

柳楽委員長

そもそも、在宅で医療や介護を受けるというのはご家庭の側からするとなかなか難しい状況もあると思います。でも国は在宅医療・介護を進めていく方向でやってきているようです。市も在宅医療・介護を進めようという方針がしっかりないと進んでいかないと思いますが、市の立場としてどのような捉え方なのでしょうか。

健康長寿課長

国では在宅を非常に推進されています。実は在宅のサービスはかなりあり、事業者数的には他所より充実している所はあると思います。ただ、従事者が非常に少なくなってきていてサービス提供が十分に出来るのかについては、将来的に非常に不安はあります。その確保に向けてというのが市の役割かと思っています。

色んな個別対応について、介護の状態に至る前の所から出来るだけ情報把握をして、職員・保健師・看護師等がご自宅に伺って重度化しないように早期の対応に努めています。その辺りは手厚く頑張っていると思っています。

ただ、これからどうやって充実させていくのかという、体制の所は改めて考えたいと思います。

柳楽委員長

従事者の問題もあると思いますが、在宅で医療や介護を受けて

いただくことに関するご家庭の理解は、すごく難しい所が有るのかなと思います。周りを見ている、ご家族が仕事を持っていたりするとご家庭でというのも難しく、入院した後に市外の施設に入られるケースもあったと思います。そういう方向が強くなっていると感じられます。在宅医療や介護に向けて市民の皆さんに対して、そういった方向で出来るだけ進めていきたいという理解を得られるための周知は、現在どうされているのか、どのように進めていかれるのかお聞かせください。

健康長寿課長

大事なご指摘です。全国的な話ですが、非常に高齢者が増えて介護の需要が増えたために、施設で賄いきれない分を在宅で担うことが推し進められています。ご家族の理解と併せて地域のご協力も必要になってくると思います。具体的にどういったことを手掛けているのかという部分のお話ですが、地域として色々な受け皿が担っていただける部分を模索するという事で、かねがね色々な所でお話させてもらっていますが、生活支援コーディネーター等の充実をさせてもらう中で、地域とお話させていただいて地域のネットワークづくりをさせてもらっています。地域での居場所づくりを含めて重度化予防であったり、見守りであったり、そういった地域としての体制作りを促進しているところです。

ご指摘いただいたようにご家族の意識であるとか、そういった部分にも今後色々な形の啓発をさせていただかねばならないと思っています。

柳楽委員長

その他(4)についてございませんか。

( 「なし」という声あり )

では(5)について質疑をお願いします。田畑委員。

田畑委員

配食サービスですが、平成 18 年から値上げしていないとのことで今回 50 円値上げされたということですが、量的にはどれくらいありますか。地区別で分かれば地区別でお願いします。

健康長寿課長

地区別も整理していますが手元には無いのですみません。登録者数は大体 250 名で、実際に日々の利用実績は 200 名弱。一日の平均配食数は 100 弱です。

田畑委員

毎日 100 食ということで、利用者は独居の方が多いのだろうと想像しますが、そのとおりですか。

健康長寿課長                    まずどういった方が対象になっているかですが、概ね 65 歳以上の高齢者あるいは障害者のみの世帯を想定しており、個別需要には例外的に対応します。そういったことで、高齢者、独居、高齢者のみの世帯が中心です。

柳楽委員長                    (5)についてその他ございませんか。

芦谷委員                        18年まではいくらだったのでしょうか。

健康長寿課長                    その辺りの資料は持ってきておりません、大変申し訳ありません。事業そのものは平成 10 年くらいから始まっていて、市の合併を含めてやり方が色々変わりましたので、現行の所が 400 円です。

芦谷委員                        事業者へは市からいくら払うのでしょうか。

健康長寿課長                    資料中に記載が無かったため口頭で触れさせていただきました。弁当代の実費は利用者さんから事業者さんへ払っていただき、市は配送に関わる費用を負担しています。現行予算では約 1200 万円です。昨年の実績は 1200 万円強でした。

芦谷委員                        制度の中身や利用を促す啓発はしているのでしょうか。

健康長寿課長                    事業の紹介は広報紙で定期的に紹介したり、市のパンフレットを用意しています。利用に繋がるのがどういったケースかということ、ケアマネージャーさんや民生委員さんからの情報提供等の諸情報をもとに我々からお知らせさせていただき、配食サービスを受けられるケースは多いです。

芦谷委員                        実費負担分については業者が徴収して、そのまま業者に回るということですね。

健康長寿課長                    そのとおりです。

芦谷委員                        介護保険の自己負担が 1、2、3 割と変わってきています。いきなり 50 円上げるよりも業者の委託料と折半にするとか。食は健康づくりには大事です。PR の問題も含めて、いきなり自己負担を求めるのではなく、市も応分の負担をして事業者に払う方針の検討はあったのでしょうか。

健康長寿課長                    まず料金の値上げ幅の話ですが、昨年来からの食材の値上げにより、関わっている 2 事業者はこの 4 月以降既に一般弁当を値上げしています。うち 1 つの事業者は 50 円以上値上げをされています。今回業者との擦り合わせにおいて、50 円以上の値上げを望

んでおられました。あまり大きい負担にするわけにもいかず、折り合いをもってこの金額に決めていただいた経緯があります。

行政負担での折半を、というご提案も頂きました。そういった話も確かにありましたが、この事業は食の確保が難しい方々が対象であって、低所得者対策ではありません。仮に公費を入れて弁当代の実費を安くしたとして、事業者さんが卸している一般弁当代との差をどう考えるのか。また、市内には他の事業者さんもいらっしゃると思いますので、そこでの兼ね合いをどう考えるのか。市を通じれば公費を使って弁当代を安くするのか。そういう検討を経て、あくまでもこちらは見守りを含めて弁当代を届ける部分への公費投入をさせていただき、弁当代の実費は利用者さんの負担とすべきではないかということで、現在の形になっています。

芦谷委員

ごはん付き弁当代の実費が450円かかるということで、よろしいですか。

健康長寿課長

実費をどこまで捉えるのか、という問題があるのですが、食材費そのものはそこまで行っていないかもしれませんが、人件費等諸々含めて、その代金がかかっています。

芦谷委員

新聞配達等も含めて、各戸を回るのは大事です。食べ残しの量、受け渡しの表情で、その人の健康状態や介護度を見るという取組をやっている先進市があります。是非それも加えていただいて、1200万円も委託料を払うなら、弁当代配達にプラスアルファの見守り確認等のサービスを含めていただくことについてはどうでしょうか。

健康長寿課長

一般の弁当代配送サービスもありますが、それを市が担う意義はいまのお話にあったことだと思っていますので、弁当代を置いて帰るのではなく必ず声をかけて、相手がいらっしゃるのを確認して弁当代を渡すことで状況を確認することを、この事業の大きな目的と考えています。引き続きこの部分を大事にしたいと思います。

柳楽委員長

その他。布施委員。

布施委員

配食サービス、プラス安否確認は非常に大事だと思っています。隣のおばあちゃんも配食サービスを利用されるのですが、薬カレンダーを付けておられて、配食サービスの方がチェックして介護訪問院に分かるように一筆残すといったサービスもされている

ようです。実際的に浜田市で配食サービスをやり出して、安否確認した際に通報しなければいけないような事案があったかどうか、また家族に伝えた事例があったか、件数が分かれば教えてください。

健康長寿課長

流れとしては弁当を届けに行っても不在だった場合は、時間を置いて再度行く流れです。その時にも確認が出来なければ、市へ連絡いただいて、市が事前に確認しているご親族に連絡したり、民生委員さんを通じて状況確認することがあります。特に緊急を要する事態としては、一昨年だったか、今のような形のやり取りをしてご親族に連絡したら、「必ずいるはずだからこの位置から覗いてくれ」と指定をされ、覗かせていただいたらうずくまっていたので救急搬送したという事案がありました。頻繁にあることではないです。

布施委員

未然に防いだのは大変良いことです。配食サービスを利用される独居老人は非常に孤独です。弁当一つ配達するにしてもコミュニケーションが取れて楽しそうです。食の値段は上がるかもしれませんが、それ以外の所を充実させていっていただきたいと思います。

柳楽委員長

他にありませんか。村武委員。

村武委員

基本的な所ですが、対象者が 65 歳以上の高齢者・障害者の方と言われましたが、独居で自炊が出来ない者なら希望者誰でも受けられるサービスなのでしょうか。

健康長寿課長

基本的には概ね 65 歳以上の方、または障害者のみで構成される世帯という規制がありますが、例外的に、そういった方を主な構成員としながら特に事情がある場合にサービス提供している事例は何件かはありますが、どの条件にも該当しない場合にはご遠慮いただいています。

村武委員

その辺りが曖昧な気がしています。このサービスを提供されている事業者さんではなく、一般的なお弁当配食をされている事業者さんとの兼ね合いもあるというお話があったかと思いますが、このサービスをご存じなくて一般的な事業者からの配食を受けておられる世帯もあるのかなど。

この事業は安否確認も大きな目的のように思えるので、その目

的をもう少し明確にしなければいけないのではないかと感じたのですが、どう思われていますか。

健康長寿課長

対象が高齢者という部分で言うと、あまり縦割りの話になってはいませんが、高齢者施策として何が必要かという観点から出てきた部分なので、対象者に若い方を含め難いという点があるのですが。この事業の目的は、まず食の確保。そしてそれに併せて見守り含めた安否確認です。事業をご存じない方も沢山いらっしゃるのではないかとのご懸念も多分にあると思います。広報誌を使ったPRだけではなく、民生委員さんやケアマネさんを通じて、必要な方はご連絡いただくようにというお話をしていますが、この辺りはより一層の周知に努めたいと思います。

村武委員

1日平均100食ということですが、ひと月に何人程度が利用されていますか。

健康長寿課長

利用登録をされている方が、6月末現在、全市で250名。6月実績での実利用者数が194名、1日の平均配食数が97個です。

柳楽委員長

その他にございませんか。澁谷委員。

澁谷委員

お弁当事業者さんと配送の方とは、違うのですか。

健康長寿課長

今お願いしている2事業者とも、弁当を自前で用意して、その事業者自身が配送もされています。

澁谷委員

だとしたら結構高いと私は思います。いまのお話だと1日平均100でしょう。30日で3000個。その中で毎月100万円の配送費がかかっているということは、1個配送するたびににかかる送料は300円です。そうすると1個単価は今でも700円以上となっています。ガソリン代やどういう地域へ配送しているかが現段階では分からないので、非常に奥地の方が多かった場合は配送時間がかかりますが、どうなのかなど。弁当が高いと言われますが、課長はこの弁当を試食されたことがありますか。

健康長寿課長

試食したことはございません。

澁谷委員

弁当が美味しいかどうか非常に大事なことです。美味しく健康的な食材が使っているか、高齢者向けのバランスの良い弁当であるか。担当課全員で試食してもらわないと困る。こういう食事を提供してもらおうという形にきちんとなっているかという問題があるし、1食あたり450円というと、今の時代でどうなのか

と思うわけです。この 450 円は廃棄ロスゼロなのです。普通は弁当を製造した場合、廃棄ロス等も加算して考えるのですが。今の時代、弁当の原価を抑えようとすればいくらでも抑えられます。外国からの大量の出来合いの冷凍食品を利用する、見た目をよくする等、本当に利用者さんのことを考えた形になっているのか。美味しくて、健康によくて、バランスのいい食材が使っているか。それで、業者さんから上がってきた値上げの要望に「はいそうですか」というのはどうなのかと思います。この弁当、配送料まで含めれば 700 円以上ですから。その辺が精査されているように見えないのですが、いかがですか。

健康長寿課長

弁当の仕様を定めています。あくまで高齢者向けですので、栄養確保のためのカロリー数を設定し、弁当の中身にも仕様を設けています。一般弁当とは若干手間がかかっているかと思います。

現在 2 事業者に委託していますが、全市域に配送が出来ることを条件にすると、どうしても事業者が限られてきます。2 つある地域の、食の好みというものがあります。利用者の好みに応じて選んでいただけるスタイルを確保するために、両者それぞれを全市域対象として発注しています。

コストを非常に抑えようということであれば、エリア分けをして配送効率を上げる方法も考えられますので、出来る手法はないのか模索したこともあったのですがなかなかうまく行かなかった経緯があります。

お客さんの食の好みに合わせた選択肢が用意できるような工夫もしながら今のスタイルを取っていることもあって、450 円が適正額なのか等の細かい視点は色々あるとは思いますが、2 つのうち 1 つの事業者は一般弁当を 50 円以上値上げしている現状も鑑みると、事業者が求められる無理のない範囲の値上げではないかということで、決定に至りました。

澁谷委員

それがよく分からないのだけど。65 歳以上の方で障害者を含めた方が利用されているということは、ほぼ年金生活者あるいは多くの収入が無い方、非課税世帯と推測します。生活が苦しい方達の食を賄っておられると思います。それに対して値上げがいつも簡単だと思います。これからガソリン代も食材の値段も上がるか

もしれず、もっと上がればそのたびに上がるのでしょうか。

そういう言い方をするのは、今はスーパーに並ぶ弁当も昔に比べてすごく安くなっていると素朴に感じます。僕が仕事で作っていた 20 年前に比べたらはるかに安い。そういう時代状況を考えた時に、擦り合わせをして 50 円の値上げで……こんな形で事業者側の値上げ要請を簡単に受け入れるのが、本当に行政の仕事のやり方なのかなと思います。今は 2 業者かもしれませんが、旭、弥栄、三隅にも単独の方々と相談しながら配送距離を近づけて、本当の地産地消をやっていただく方がはるかに健康的だし、そうして健康長寿を目指せば、他自治体からも視察が来るような形になると思う。今のやり方だとそんなこと全然ないよね。僕が視察先を探す時、ホームページを見て「これは先進自治体だ」と感じて自分の自治体にも参考になるような形を勉強しに行きたいとは思わないよね。絶対に思わないよ。こんなものを見ても。逆に言えば最悪だと思うんだけどな。知恵も無い、工夫も無い、努力も無い。基本的に利用者さんのことをあまり考えていないよね。業者のことを考えている。顧客満足度を高めるという考え方が全く無いよね。この点について如何ですか。

健康長寿課長

まず弁当代の話で言いますと、長年据え置きをしてきました。従前から値上げの必要性のお話を頂きながらも、出来るだけ負担を増やしたくないということで今まで引っ張ってきた経緯があります。ただ、昨今の状況と、各事業所が一般弁当も値上げしている状況に至ったことを踏まえ、この度やむを得ず金額を上げました。

食の確保というのが非常に大事な点ですが、中でも大事なのは「必ず届ける」ということです。1 年 365 日の営業日に対し、元旦を除いた 364 日を対象としています。それだけのことを確実にやっていただける事業所は限られるので、今のようなスタイルを取っていることもご理解いただければと思います。

澁谷委員

配送費の毎月 100 万円も、業者が売り上げとして検討していると思うのだけど、配送費 100 万円をどのようにお考えですか。

健康長寿課長

配送費の設定は非常に難しい所だと思っています。配送先も色々ありますが、委託の 2 事業者はいずれも浜田市内です。あく

までも事業者さん視点で言うと、金城・旭のルートにある5軒を回るのに半日かかると。その分のコストや、そのために車をもう1台確保しなければいけないという事情のお話をいただくこともあり、理解できる部分もあります。ただ全体を見渡した時に、全体額としてどうなのかという所もあります。コストの考え方については私たちなりに検討しないといけないし、業者さんからもより一層詳細なお話を伺いながら考えていかないとはいけません。

柳楽委員長  
西村委員

その他にございますか。

私はいい加減に理解していたようで、聞いておかないとまずいと思ったのでいくつかお尋ねします。

まず弁当料金のことですが、これまで320円と400円だったものを370円と450円に引き上げるということですが、これまでの値段設定の妥当性はどのように、何に基づいて判断されてきたのかお尋ねします。

健康長寿課長

具体的な金額の設定をされたのが、もう十数年前とのことなので細かい所の確認は出来ていないのですが、一般弁当等との比較で、実際に弁当を作るための大まかな事業積算をしていただいた部分から、1食あたりいくらかを見込んでいただきそれを見せていただいて決まったのが今に至っています。

特にこれについて、例えば利用者さんから弁当代が割高だとかいう声はありません。

西村委員

分かりました。平成18年に現在の料金になったという話ですが、その時には数字的な手間賃を含めた裏付けはあったのですよね。

健康長寿課長

数字が残っているのかというと、すみませんがきちんと確認は出来ていません。ただ話としてそういった擦り合わせがあった中でこういう金額できたのだというのが、今の時点では伝聞となっています。

西村委員

分かりました。これまで実際に400円の弁当がどういうものであるかについて、例えば抜き打ち的に1個注文して食べてみるといったことは、されたことがありますか。

健康長寿課長

私が担当してからはありません。それまでも行ったことがある

かについても存じてないです。

西村委員

率直に言うと私も高いと思いました。400 円も高いし、450 円に上がるというのも。しかしこれでも足りないと言業者はおっしゃっているという話で、それはそうかもしれませんが、では業者さんはそれだけを作っているわけではなく、当然他の弁当もお作りになっている中でこの日 100 食程度を作っているわけ、一般的な概念からすると少なくとも安くはないなと思ったし、値上げ幅という点から考えてもどうなのかなと思ったし、そういう意味で言うと今回は値上げなのでしっかりした数字的な裏付けは取らないと不味いだろうと思っていますし、今回は裏付けを取った上での 50 円の値上げなのかと疑問がわいたのですが、どうでしょうか。

健康長寿課長

今回の料金設定を考えるにあたっては、各事業者からどのような積算で 1 食が出ているのかを提出してもらって、それに基づいて見ながら金額設定をしています。

西村委員

分かりました。弁当の仕様の話が出ました。具体的にどういう仕様が記載されているのか、参考までにお知らせいただきたい。

健康長寿課長

細かい所は用意がないのですが、「1 食あたり 550 キロカロリー一程度の設定で、柔らかいもの」ということが仕様で謳われていたと思います。

西村委員

安否確認ですが、これは仕様書を取り交わしたのでしょうか。

健康長寿課長

こういった手順で行うかの約束事を指示しています。

西村委員

それは履行確認はどのような形でされているのですか。

健康長寿課長

利用者さんには個別に記録管理で残していただき、それを月締めで我々に報告いただく形で確認しています。

西村委員

基本的に不在であれば渡さないというのは分かりました。業者さんの報告書という形でやっているけど、それが実際になされているかどうかは利用者側の確認がないと、多分完全なものとは言えないと思うので。100 あれば 100 やれとは言わないけど、1 つ 2 つは利用者側に確認しないと不味いのではないかと思うので、それがなされているかどうか。

健康長寿課長

具体的に利用者さんに連絡を取って「今日は届いたか」といった聞き方はしていませんが、ものが弁当ですので届けられていな

ければ「来てない」とリアクションが来ます。そういうことをもって確認としています。

西村委員

それは良いのです。何か特記的なことがあった場合、どういうことがあるのかは分かりませんが、それを利用者側に確認されたことはあるのかどうか。

健康長寿課長

一般的によくあることとしては、弁当を配りに行ったけど何度行っても不在だったと。何故なのだということになる、子供さんの所へ行ってたとか。通常、不在になる際は我々か事業者さんへ連絡を入れてもらって上手く回っているのですが、連絡漏れがあった時にあれこれしたというトラブルはあります。また、この冬の非常に雪が多かった時に、雪で弁当を届けにくかった時に、遅れますと連絡を取ったとか。トラブル時は都度応じて利用者さんと業者さんと確認しながら行っているということはありません。

問われていることへの答えがこれで良いのかどうか分かりませんが、そういった事案については状況に応じて対応出来ていると思います。

西村委員

配送料金の契約の問題ですが、1200万円程度で2業者ということでしたけど、これはどういう積算ですか。私はてっきり1件あたり何円という契約になっているのかと思っていましたが、どうもそうでもないようなのでお尋ねしたい。

健康長寿課長

先ほど来から事業費のお話が出ていながら、そのことにきちんと触れていなくていけませんでした。昨年から2業者になって現在に至っていますが、どちらを選んでいただいても良いようになっていますので、1件当たりの単価設定を行っています。

柳楽委員長

その他にございませんか。

( 「なし」という声あり )

暫時休憩します。再開を11時35分とします。

( 休憩 11時27分 )

( 再開 11時35分 )

柳楽委員長

調査会を再開します。

## (6) 浜田市病後児保育室の開設について

## (7) 浜田市子育て支援センター基本構想について

柳楽委員長

この2件について、子育て支援課長。

子育て支援課長

( 以下、資料をもとに説明 )

柳楽委員長

(6)について、質疑がありますか。村武委員。

村武委員

8月10日からの開設に間に合って良かったです。利用者への周知ですが、広報はまだ8月号に掲載されていると聞いて私も見ました。また市内の全保育所等に配布とありますが、公立の幼稚園や小学校にはどうされていますか。

子育て支援課長

公立の幼稚園については、家で看られない子供さんが最優先されますので、公立幼稚園は家にお母さんがおられる場合が多いとこのことで個別周知まではしませんでした。小学生については同じように、親御さんが働いておられる家庭が中心になるかと思いましたが、放課後児童クラブにチラシを配備することでアナウンスしていますが、全戸への配布はしていません。

村武委員

放課後児童クラブを通じてということですが、出来たら放課後児童クラブを利用される子供さん全員にチラシを配布されたらどうかと感じました。

柳楽委員長

その他にございますか。澁谷委員。

澁谷委員

補助金の返還金額が未確定だというお話がありました。繰り返して言っていますが、いつになったら確定するのか全く見えない。ということは、斎藤先生に対する名誉回復、誤解を招いたことに対するお詫びを、浜田市は公のマスメディアを使っての正式発表をしていないのです。それがいつまでもいつまでも……何をやっているのか。部長が直接行って、県の担当課長と国のキャリア官僚に会って、いついつと決めて戻ってくるべきではないのですか。

健康福祉部長

言われることは大変良く分かるのですが、早く決めてとお願いしてその返事待ちです。

澁谷委員

一つの大きな問題が解決する前に現状の浜田市は、弥栄のふるさと体験村の問題が大きくクローズアップされて、それがまた解決しないうちに4号市場と7号市場の積算ミスだったり、お魚センターと公設仲買売場の全体ビジョンの無いまま強引に進められていたりもするわけです。議員として大変情けない。議会の力

が無いからですよ。議会の発言が馬耳東風になっているのだ。繰り返し数名の議員が指摘しているのに全然解決を見ない。そういうことは止めて欲しい、子供の時間はもう終わりにしましょうよ。きちんと責任をもって一つ一つ解決していかないと、また次の大きな問題が発生するのではないですか。部長の答弁には今一つ本気度が感じられませんでしたので、もう一度お願いしたいと思います。

健康福祉部長

私はいつでも本気で答えさせていただいているつもりですが、気持ちが伝わらないとすれば申し訳ありません。先ほど言いましたように指示を待っている状態です。体験村やお魚センター等の色々な大きな問題と言われましたが、私どもは日々職員一丸となって市民のために働いているつもりです。結果として問題が起きているのは事実ですが、しっかり反省して今まで以上にしっかりやっていきますし職員一同本当に一緒になって頑張りたいと思います。

柳楽委員長

その他にございませんか。

( 「なし」という声あり )

では(7)について質疑をお願いします。

芦谷委員

素晴らしい資料だと思います。現在の子育て支援センターの登録者や利用者の推移と、三隅に作られた支援センターの状況を伺います。

子育て支援課長

利用者の推移については7ページに書いてありますので、それをご覧くださいければと思います。28年度29年度は微増ながらほぼ横ばいです。三隅が出来た4月以降もある程度しっかり利用されていると思います。三隅チャイルドさんの利用数や取組については毎月の報告をいただいているのですが、すみません手元に4月分の資料しかありません。4月は合計151人の利用があったようです。

芦谷委員

三隅が作られて、一ヶ所に集めてやることも良いですが、各保育所の人員を含めた色々な基盤を上手く利用するようなことはお考えですか。お考えがあればお願いします。

子育て支援課長

身近な所で子育てができる環境は大切だと思いますので、今回浜田公民館においてもキッズルームが出来るという話を聞いて

います。近場で気軽に遊べる所が増えるのも一つの大事な点かと思えます。ただ、今度作ろうとしているのは子育て支援の拠点となるような施設です。それは一ヶ所に集めようというものではなく、保健師や助産師等の専門職員をある程度配置して、ただ遊ぶだけでなく養育や悩みを抱えたお母さんの話を聞く、成長が心配な子供さんをしっかりそこで遊ばせてその中で見ていくとか、そういう拠点という考えを持っていますので、遊び場としての施設が増えていくのとは車の両輪のように整備しながらやっていければ良いと思っています。

柳楽委員長

その他にございますか。村武委員。

村武委員

私もこの建設検討委員会を何度か傍聴させていただきましたが、活発な議論が交わされて立派な基本構想が出来たと思っています。場所について、大人の意見だけではなくと先ほど課長がおっしゃいました。基本構想の中にも「小中高生や大学生等の交流を行ったり」と書いてあります。例えば高校生や大学生の意見を聞かれているのでしょうか。

子育て支援課長

私が直接大学生等のヒアリングはしていませんので、ただ大学の先生が中心になって研究してくださっているので、その結果を待っています。また、先日は浜田高校の総合的な学習に行かせていただきました。一つのグループが子育て支援センターのことを取り上げてくれていて、その子たちは福祉センターの横にあれば色んな連携が出来て良いと言っていました。高校生にもそのように関心を持っていただけたようです。更に必要があればアンケートなり話し合いの場を持ってヒアリングしてこようと思います。

村武委員

高校生や大学生も将来は親になるので、彼らの意見を入れるのも良いと思っています。場所ですが、恐らく現地と福祉センターとではメリット・デメリットがそれぞれあって、決めるのは大変難しいのではないかと感じます。例えば近隣施設とどういった連携が出来るかとか、子育て支援センターだけで考えるのではなく総合的に周りの環境も含めてメリットがあるとか、総合的に考えて決めていただければと思うのですが、どのようにお考えですか。

子育て支援課長

かなり前ですが、福祉センター、こども美術館、県立大学に向いてどんな連携が出来るかというお話をさせていただいたこ

とがあります。各施設が出来ることを好意的に受け止めてくださっていました。その後色々案が出てきたので、また追いかけて何度も話をするといったことはしていませんが、皆さんもそれには好意的でした。また現地については、市役所が関わっている国の施設になるので、こういった所とはどちらかという行政主導の連携は取りやすいのかなど。今後議員さんとの意見交換会も予定していますので、それまではしっかり検討させてください。

柳楽委員長

その他ございますか。澁谷委員。

澁谷委員

松原にしても大学の横にしても、出来上がるであろう子育て支援センターは大変立派なものになるだろうと推測します。基本構想を読ませていただいても、全然新しさを感じません。浜田独特の子育て支援センターを、これだけの設備投資をしてやっていくというのは。松原町に作る時には他の自治体が始めていて、我々議会としても遠野市や相模原市に視察に行きました。後追いかけてそういう施設が必要だからと言って作られたと思うのだけど、今回はきちんと新しい物を作る以上は、出生数が400人を割っている浜田市の人口自然減少へのメッセージが弱いように思うのですが、何か新しい取組は。資料を見ても、特色のある所までには至っていないように思うのですが、お考えをお尋ねします。

子育て支援課長

おっしゃるとおりで、何が新しい点かと言われると難しい所です。まだ場所が決まらないのも大きな原因です。場所が決まったらそれに対してもう少し特色ある所が盛り込んでいけるのではないかと考えています。今後は出生数は残念ながら下がっていくかもしれませんが、お困り感のある家庭の維持という問題は、悲しいかなだんだん増えていくのではないかと考えます。出来たらそういった所にもしっかりと手を差し伸べてあげられて、浜田市の子供がどんな時でも笑っていられるような環境になるように、それを応援できるような施設にしたいと考えています。

澁谷委員

是非いくつかあるコンセプトの中に、いま課長に言われたような考え方をメッセージとして伝えられる仕組み、スペースもご検討いただきたいと思います。

場所については予算委員会で市長が突然挙手をして、大学横の福祉センターに作るのだという話をされて。担当委員会で全然話

し合ってもないし聞いてもないことを、よく言われるなど素朴に思いましたが、予算委員会での市長の発言は極めて重たいと思っていますのです。全議員の前であそこまで言われたのだから。ただ、松原と大学の二つの候補地案には一長一短あって、それを絞り込むのは簡単ではないと思いますが、どのように決めるのでしょうか。例えば「浜田市」という名称は全市民の投票で決まりました。色んなやり方があると思いますが、どういう手法をお考えですか。

子育て支援課長

検討委員会からいただいた資料を市に持ち帰っている状況です。その中に新たな候補地の有無も含めてしっかり検討して、ある程度、市としてはこういった理由でここでやりたいという所まで持っていった後に、議員さんとの意見交換会等が出来ればと思っています。なので、若干のお時間が要るかもしれませんが、市としての方向性はある程度決めてから次に進みたいと思います。

澁谷委員

場所は議員との意見交換会で決めるということですか。

子育て支援課長

ある程度、市としてはこちらでこういう形でやりたいのですがいかがでしょうか、という段階で議員の皆さんの意見を聞くということです。議員さんに投票してもらって決めるといったつもりはございません。議員さんからの意見を踏まえて、最終判断が要るかと思っています。

澁谷委員

ということは、議員との意見交換会までに執行部案として選択してから、提示があるという理解で良いですか。

子育て支援課長

そのようにしたいと、現段階では思っています。

柳楽委員長

田畑委員。

田畑委員

子育て支援センターの建設にあたって、民間団体のおやこ劇場の皆さんや、現子育て支援センターに勤務しておられる方と意見交換をする中で、例えばおやこ劇場の皆さんについては波子や浅利に行ってみて来てくださいますといったような、良いことばかり言われました。確かに金や面積がいくらでもあるならそれも良いでしょうが、色んなことを考えたら議会側の意見とすれば、都会地においてはショッピングセンター内にあたりして、浜田の商店街が疲弊しているから商店街あたりで考えたらどうかとか、漁協事務所が空いているからあそこでどうだとか、そういったことが

ほとんど検討されないままに、松原か野原の二択になっています。私が最後に発言したのは、三隅で子育て支援センターおひさまを建設されて、4月一か月で150人くらいの方がおられるのであれば、分散した方が費用も維持費もランニングコストも安くつくと思います。例えばみなと保育園さんをお願いするとか、長沢保育園、国府保育園をお願いするといったことも考えていかないと。三隅で出来たのが3千200万円くらいで、その内の国、県、浜田市の手出だしが1千万円ちょっとです。しかし、これを作ると過疎債等諸々を駆使したとしても3億3千万円くらいかかるでしょう。作ったは良いけれどランニングコストもすごくかかるでしょう。市内の各保育園を運営されている方々と市とで折半する方法もあるだろうし、そういう角度からも物を考えていかないと。松原か野原か二択です、とパッと出されたら、議会はとても賛成できる状況ではない気がします。いかがですか。

子育て支援課長

比較表には出していませんが、委員会の中では、ショッピングセンター内はどうか、商店街の中はどうかといった議論もさせていただきましたが、検討委員会としてはやはり土のある所で新築するのが良いという意見にまとまった所です。なので、いま提案のあったような議論を全くしていないということではありません。

それから二択のお話ですが、言いましたように他の方法もあるので。検討委員会ではこの二ヶ所で絞って検討はさせていただきましたが、他の方法も今から含めて考えて、最終的にここでどうでしょうかという所までは持っていきたい。その時にもうここ二ヶ所ありきで二択を迫る気持ちはありません。

田畑委員

分かりました。今日の報告事項はあくまでも、検討委員会の資料であるという理解で留めておきます。

柳楽委員長

その他にございませんか。西村委員。

西村委員

今日でなくて良いのですが、今後の検討材料の一つとして、委員の意見の中にも出ている問題ですが、野原は満車の問題が指摘されていますよね。例えば1年で見た時に満車がどの程度問題になっているのかや、車の流れの問題で言うと、バイパス出入口交差点の混雑が前から非常に気になっていて、それに影響はないの

かもしれませんが、もし支援センターが出来たら更に混む可能性もあるので、交通量の調査結果みたいなものがデータとしてあるのかどうか。要するに渋滞何メートルが何日あったとかいう数字的な裏付けがあれば、いただきたいと思います。

子育て支援課長

交通量調査までは難しいかもしれませんが、検討委員会において出ていたのが、交差点の混雑というよりはイベント等が重なった時に駐車場が満車になることが見受けられる程度の話であって、いつどうだったかというのは難しいかもしれませんが、委員の中に福祉協議会の事務長もいますし、美術館の職員にも確認してみます。ざっくりしたものになるかもしれませんが、資料が作れば出してみたいと思います。

西村委員

言っても仕方ないことではあるのですが、道路の構造を変えない限り解決する問題ではないとは思いますが、野原には公共施設が一杯あります。いわみ一もあるし、葬祭場もあるし、県大もあるし。そういう意味では計画性がないと思うのです。混雑は増えることはあっても緩和されることは無い。長いスタンスでの交通をどうしていくかについても、一方では考えないと大きな抜け穴が出来る可能性があるのではないかという気がしています。答弁を求めてはいませんが、私が気になっている点を発言しました。

柳楽委員長

その他ございませんか。

( 「なし」という声あり )

#### (8) 災害の被害状況、支援等について

#### (9) 平成30年7月豪雨災害への浜田浄苑及びエコクリーンセンターの対応について

柳楽委員長

この2件について、健康福祉部長。

健康福祉部長

( 以下、資料をもとに説明 )

上下水道部長

( 以下、資料をもとに説明 )

健康福祉部保健師

( 以下、資料をもとに説明 )

地域福祉課長

( 以下、資料をもとに説明 )

環境課長

( 以下、資料をもとに説明 )

柳楽委員長

説明が終わりました。まず(8)について質疑をお願いします。

( 「なし」という声あり )

(9)について質疑をお願いします。

( 「なし」という声あり )

(10) 浜田市金城高齢者生活福祉センター（さんあいホーム）の設備修繕について

柳楽委員長

この件について、金城支所市民福祉課長。

金城市民福祉課長

( 以下、資料をもとに説明 )

柳楽委員長

報告が終わりました。委員から質疑をお願いします。芦谷委員。

芦谷委員

さんあいホームは波佐にあります。波佐にできた経過と取扱いについて伺います。

金城市民福祉課長

設置時期がはっきり分かりませんが、さんあいというのは、ふれあいや支え合いの「あい」を取って、金城の福祉施設を「さんあい」と呼んでいます。さんあいホーム高齢者福祉センターを拠点として、今福地区と波佐地区にそれぞれ衛星施設的に設置して、当時運用されていたものです。それからの利用状況の変化、委託業者は当時から社協ですが、そちらの運営方法等の効率化から、高齢者福祉センター1本でやっていくことになった結果、今福と波佐は休止・廃止となった経過があります。今福は民間による福祉施設で、事業地として活用したいということで処理が出来ましたが、波佐の方は地元とも跡利用を協議しているのですが、まだ具体的にまとまっていない状況です。早急に決めないといけません。まだ時期も決まらず、地元の中でもまとまっていただくことも必要だろうと思いますが、その辺の協議をつけさせていただいている段階で終わっている状況です。

芦谷委員

波佐が空いているので、是非地区の文化や健康等も含めた保護施設にという話があるものの、地元との調整がつかないらしいです。空き家があそこにあるのが勿体ない気がしています。

金城市民福祉課長

確かに波佐地域の一番中心にありますし、それなりの規模の建物ですので、色々と提案の声はあるものの地元の中でも調整しきれていないので、調整中です。何とか良い方向になればと思っています。

柳楽委員長

その他にございませんか。

( 「なし」という声あり )

(11) マンホールカードの制作について

柳楽委員長

この件について、下水道課長。

下水道課長  
柳楽委員長  
布施委員

( 以下、資料をもとに説明 )

説明が終わりました。委員から質疑はございますか。布施委員。  
基本的なことを聞きたいのですが、何枚作製されて、費用はいくらくらいかかったのでしょうか。先ほど言われましたがマンホールというのは、駅鈴協定があります三重県松阪市には鈴モニュメントを送った代わりに、駅鈴協定の時に実際の駅鈴を模したマンホールの蓋を有効の証として浜田市に送っていただいたこともあります。

マンホールは下水道の普及啓発もありますが、ご当地情報としてのPR力が非常にあると思っています。今回作ったので終わりなのではないでしょうか。

下水道課長

費用は以外に安く、2千枚作って3万7千円ほどです。制作側が2千枚を1ロットと決めていたので、とりあえず1ロット作りました。手渡しするとのことなので、1年以上はもつだろうとは思っています。在庫が少なくなってきたらもう1ロット追加注文しようと思いますが、それは来年度以降くらいになるかと思っています。

マンホールの種類ですが、旧自治体単位で色んなデザインがありますので、今後も評判が良ければ第二弾、第三弾とエントリーしていきたいと思っています。今、全国的にブームになっていて申し込みをする自治体が多くなっていますが、新しい自治体を優先する傾向が有るのかと思います。予算的には1ロット4万円弱ですので、様子を見ながら続けて増やしていきたいと思っています。

布施委員

エントリーして採用された場合は1ロット2千枚ですが、上限が無いのでしょうか。もし手渡しが基準であれば無理だと思いますが、ご当地情報をPRするのであれば、ふるさと寄附していただいた方にお礼状と共に送るといった手があると思いますが、その辺の考え方はどうでしょうか。

下水道課長

ふるさと寄附のお礼というのは考えていなかったです。また関係課と相談してみたいと思います。観光パンフレットとしての役割も確かにあるということで、観光協会からも問い合わせが来ていますので、そちらとの連携も今後考えていきたいと思っています。

これから配布が始まるので、その辺の様子を見ながらになるかどうかと思います。

1人1枚ずつの手渡しが原則ですから、2千枚というロットが決まっています。一気に数ロット注文しても良いですが、だいたい基本スタートは1ロットが上限となっています。

柳楽委員長

その他にございますか。

( 「なし」という声あり )

執行部からの報告事項 11件について、全員協議会へ提出すべきもの、資料配布のみとするもの、提出不要のものとの決定をしたいと思います。執行部側の意向を報告いただきたいと思います。地域福祉課長。

地域福祉課長

執行部側の案を申し上げます。

- (1) 本調査会のみ
- (2) 資料配布のみ
- (3) //
- (4) //
- (5) //
- (6) 本調査会のみ
- (7) //
- (8) //
- (9) 資料配布のみ
- (10) 本調査会のみ
- (11) 資料配布のみ

柳楽委員長

執行部側の意向が報告されました。これに対し、委員から意見がありますか。

( 「なし」という声あり )

では意向のとおりとさせていただきます。統括保健師。

統括保健師

自死対策計画の所で、自死の相談の問い合わせがありましたので調べました。平成29年の延べ件数は36件。平成30年は今のところ4件になります。

柳楽委員長

ありがとうございます。執行部の方はここで退席されて結構です。

《 執行部退席 》

## 2. その他

柳楽委員長

その他で、委員から何かありますか。

( 「なし」という声あり )

以上で、福祉環境調査会を終了します。皆さんお疲れさまでした。

( 閉 議 12 時 51 分 )

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

福祉環境委員長 柳楽 真智子